

# 捨てる前にちょっと…

ゴミを資源として生かすリサイクル。何もかもゴミ箱へ捨てる前に、少しの気配りで資源保護に参加しませんか。再生工場で新しい命が吹き込まれ、再び役に立ってくれます。

## 牛乳パック

なぜ牛乳パックのリサイクルが必要なのでしょう。牛乳やジュース類の1リットルパックは良質のアルミからできています。回収された牛乳パックから取れたアルミは、古紙を再生する際に、白さとつやを出すために使われ、トイレットペーパーの原料になります。また、再利用することにより、新たに紙を作る場合に比べて七〇〜七五％のエネルギーの節約になります。再利用は森林資源の保護だけではなく、省エネにもなるのです。

この一日分の牛乳パックを古紙として利用すると、六十リットルのトイレットペーパー八百七十七個分の原料の一部になります。逆にそれを焼却した場合は、一千八百六十二円の収集・処理経費がかかるのです。

現在市内で牛乳パックの回収を行っているのは、ウオエイ、清水フード、白根市農協、庄瀬地区婦人会などです。いずれも店や支所（庄瀬地区は地域生活センター）に回収箱を設置し、いつでも、だれでも、幾つでも持っていけるようになっていました。今までゴミ箱に捨てていたあなた。牛乳パックを森林資源として見直してみませんか。

## 古紙

森林資源として有効利用できるのは牛乳パックだけではあり

## 紙パックの分解手順



飲み終わったら、すぐに水洗い。牛乳の成分をよく落とします。

一晩、逆さにして乾かします。（内側が緑色だったら再資源化は不可）

はさみで切り開きます。底の部分はあちこちに散らばるように。

底を一枚ずつ中に折り込んで保管。ある程度たまったなら回収先へ。

## アルミ缶

アルミニウムは再生しても品質が変わらず、何回でも利用できる優れた素材です。ところがこのアルミニウムは「電気のかい」と呼ばれるほど、精錬に多くの電気が必要です。しかし、アルミ缶などを溶かして再生すれば、新たにアルミニウムを作るのに比べ、わずか三％のエネルギーで済みます。アルミ缶のリサイクルが脚光を浴びているのはこのためです。

サッシや電線などの事業系のアルミ製品は、業者などを通じてほとんどリサイクルされています。しかし、家庭の中のアルミ製品の多くは料理用のアルミホイルやチョコレート用の銀紙などで、回収が困難な物です。その



中で比較的容易に回収できるのがアルミ缶です。

アルミ缶とスチール缶を見分けるには、幾つかの方法があります。まず、アルミ缶は手で簡単に握り潰すことができ、磁石には付きません。さらに缶に「アルミニウム缶」「アルミ缶」「ALUMINIUM CAN」と表示があります。衛生センターではゴミとして出された缶を、鉄とアルミニウムに選別し、一〇〇％有効利用を図っています。また、清水フールドでもアルミ缶の回収をしています。廃品回収でも分別がきちんとされていれば、アルミニウムは高値で引き取ってくれます。省エネと環境美化のために、アルミ缶は回収しましょう。

## 暮らしの中にリサイクルを

私たちが出すゴミは、生活を映す鏡のようなもの。その多くは心掛けしだいで再利用され、再び私たちの役に立ってくれます。ここで紹介したもののほか、ビン、古着など、リサイクルできるものはたくさんあります。捨てる前に、もう一度点検を。リサイクルを軌道に乗せるには、再生紙などのリサイクル商品を積極的に使うことも大切です。リサイクル商品には「エコマーク」（左図）というシンボルマークが付いています。また、 unnecessaryな物は買い控える、物を大切に使うといった、暮らしの中の心配りもお忘れなく。



庄瀬小学校PTAの廃品回収（6月23日）

## 集団回収はこんな方法で

「古紙を回収に出そうにも、回収業者がいつ来るか分からないし、置く場所もない」と言う声を聞きます。そこでお勧めしたいのが集団回収。PTAなどで役員が1軒1軒回収する所も多いようですが、地域で定期的に各自が一定の場所に持ち寄り、回収業者に引き渡すという方法もあります。次のような手順で取り組んでみては？

1. 役割分担を決める  
業者と相談する係、場所を確保する係、PR係、会計係などの役割分担を決めます。当番制にするなど長続きするよう工夫も。
2. 回収品目などを回収業者と相談  
新聞紙・雑誌などの古紙、古着、ビン、缶など、いろいろな品目があります。業者と相談しながら、取り組みやすい品目から始めてみては。日時、場所、回収方法、代金の支払い、雨天の場合などの相談も。
3. 回収日時と場所を決め、早めにPRを  
1カ月ほど前からチラシや回覧板などで早めにPR。どのようにして資源を出せばいいのかも一緒に知らせましょう。
4. 当日は  
場所を看板などではっきりさせ、品物が散らばらないように。回収の後は清掃を。

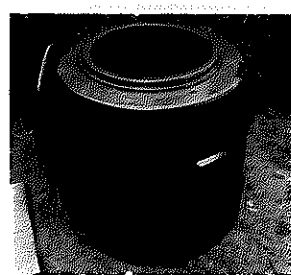
- 市内の回収業者は次のとおりです。
- 長谷部商店（☎373-2843・上下諏訪木）
  - 奥村商店（☎375-3147・茨曾根）
- 2トン車1台程度にまとまれば回収に行きます。必ず事前に連絡をお願いします。



▲雑誌、新聞紙、段ボールなど、それぞれきちんと分別を

## 生ゴミ

再利用できるのは古紙や缶だけではありません。毎日出る生ゴミもリサイクルに再利用できるのです。穴を掘って埋めて腐らせ、土に戻すのも一つの方法です。積んでおけばたい肥ができます。しかし、敷地やにおいの問題もあって、どの家でもできる、というわけにはいきません。そこで市や環境衛生協会では、衛生的に生ゴミ処理とたい肥作りができる道具として「コンポスター」をあっせんしています。コンポスターは大きなポリバケツを伏せたような形で、生ゴミなどを投入。発酵・分解させて、たい肥を作ります。においや虫の発生も防ぎ、できたたい肥は園芸用としても利用できる。農家ばかりではなく、一般家庭にもお勧めできます。



▲生ゴミをたい肥にするコンポスター

生ゴミの減量化に威力を発揮するコンポスター。申し込みは市民生活課生活環境係（☎373・2111④202）へどうぞ。



▲収集袋が見る見るうちにいっぱい（茨曾根小）

## 環境美化は僕たちが

茨曾根小学校  
戸石小学校

地域の環境美化を自分たちの手で、行い、奉仕の精神と公衆道徳を身に着けようと、茨曾根、戸石の両小学校で環境美化活動が行われました。

茨曾根小学校では六月二十二日、戸石小学校では七月九日に行われ、それぞれ燃えるゴミ、鉄・缶類、ガラス・ビン類に分けて収集。子供たちは「捨てるのは簡単だけど、捨てるのは大変。僕たちはゴミ捨ては絶対にしないよ」と話していました。

環境美化活動は、このほかの小・中学校でも取り組まれています。環境美化に対する気持ちを、大人になっても忘れずに持ち続けてほしいものです。